取付説明書

トラップ付排水ユニット

PBF-TM2-15　PBF-TM2-45　PBF-TM2-60
PBF-TM2-75　PBF-TM2-90　PBF-TM2-120

取付前に必ずお読みください

●取付けに際しては、必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。
※この取付説明書に記載されていない方法で取付けされ、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
●「取扱説明書」は貴店名、据付年月日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。

安全のため必ずお読みください

●ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
取付前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

用語および記号の説明

⚠注意・・「取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ ・・・・ 気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

🚫 ・・・・ 行ってはいけない「禁止」の内容です。

❗ ・・・・ 必ず実行していただく「強制」の内容です。

一専門用語の説明一
ケミカルストレスクラックとは、潤滑剤等の薬品による浸食と樹脂部にかかる応力との相互作用により生じる、割れのことをいいます。

⚠注意

排水ユニットは、浴室の出入口や浴槽出入部など、頻繁に踏まれるような所へは設置しないでください。 🚫
※思わぬ破損やケガにつながる恐れがあります。

トラップ取付けの際は、ネジ部などに潤滑剤等を塗らないでください。（何もつけないでください） 🚫
※ケミカルストレスクラック等を生じ漏水の原因になることがあります。

目皿を立て掛けたり、工具の代りに使うなどしないでください。 🚫
※目皿が変形し、使用時のケガにつながる恐れがあります。

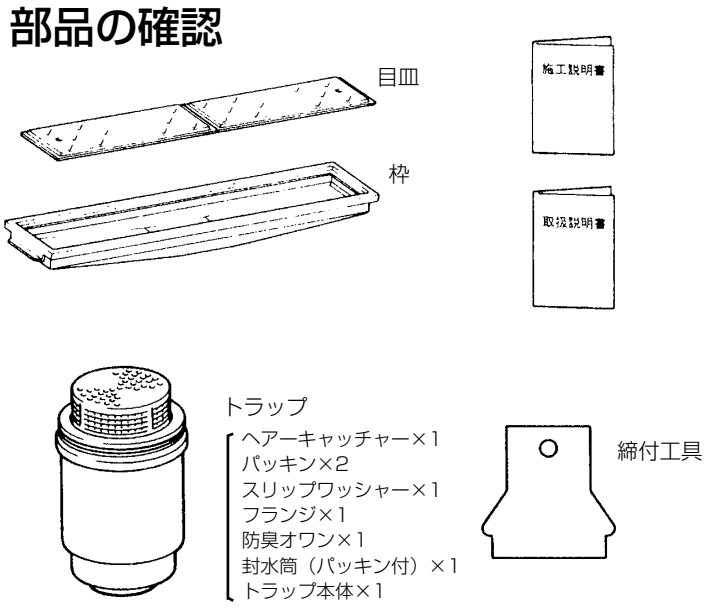
2階以上の階に取り付ける場合は、必ず床の防水工事を行ってください。 ❗
※取付けに不備があると、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

取付けに使用する溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は容器等に記載の注意表示に従って、正しく使用してください。 ❗
※使い方を誤ると**人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の劣化や損傷の原因**になることがあります。

取付上のご注意

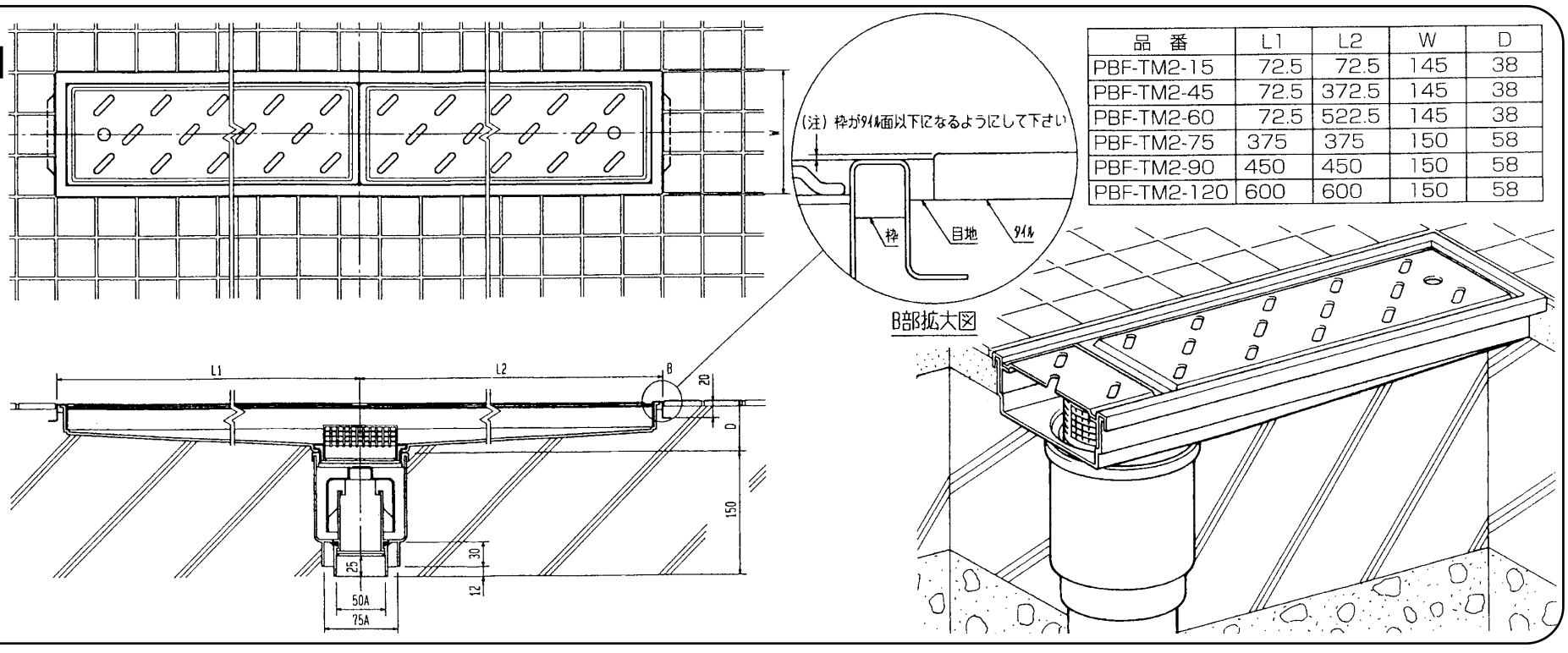
1. 養生テープは、工事が完了するまで剥がさないでください。なお、浴室工事完了までは商品全体をダンボール等で保護してください。
※表面にキズがつく恐れがあります。
2. 目皿は曲り易いものです。立て掛けたり踏みつけたりしないようにしてください。局所的に荷重のかかるようなこと（脚立をのせるなど）も避けてください。
※変形することがあります。
3. モルタル・鉄粉等が付着した場合はすぐに取り除いてください。
※変色・もらいサビの原因になります。
4. トラップの取付けに際しては、潤滑剤等を一切使用しないでください。
※ケミカルストレスクラックを生じ、漏水の原因になることがあります。
5. 排水ユニットの埋め込みスペースは本体サイズより大きめにとってください。
※壁などの仕上部が重なることがあります。
6. 埋め込み前の状態で目皿や枠に荷重や衝撃を加えないでください。
※変形することがあります。
7. モルタル（セメント）硬化時は、取付枠に目皿をセットしておいてください。
※モルタル収縮等で枠が変形し、目皿がはまらなくなることがあります。

部品の確認



※目皿はPBF-TM2-75以下は1枚となります。

取付完了図



品番	L1	L2	W	D
PBF-TM2-15	72.5	72.5	145	38
PBF-TM2-45	72.5	372.5	145	38
PBF-TM2-60	72.5	522.5	145	38
PBF-TM2-75	375	375	150	58
PBF-TM2-90	450	450	150	58
PBF-TM2-120	600	600	150	58

株式会社 LIXIL

お客さま相談センター商品相談窓口　ナビダイヤル　☎0570-01-7173
平日「9：00～18：00」対応　土日・祝日「9：00～17：00」対応（ゴールデンウィーク・年末年始・夏期休暇は除く）
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などはご利用できません。☎0562-31-0793をご利用ください。

PPB-0044(11091)

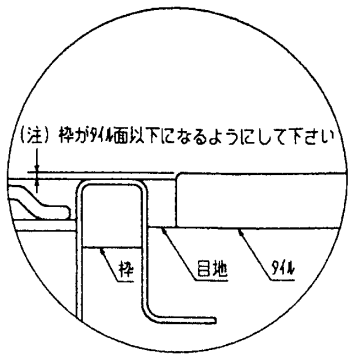
取付方法

1 排水パイプ立上げ寸法の調節

図1を参考にして枠とトラップを仮組みした上で、床コンクリートから立上がった排水パイプに取り付け（図2)、予定される床仕上面（F. L）に合うように所定の寸法（図2のL）に排水パイプを切断します。(足らない場合はソケット等を用いて延長してください)

ー注ー

・枠の上縁面が床仕上面（F. L）より突出しないように寸法取りを考慮してください。寸法取りに際しては、取付完了図を参照してください。



2 トラップ・枠の取付け

（1）枠とトラップを仮組みした状態で排水パイプとトラップの接着面双方に接着剤を塗布し、トラップを排水パイプに差し込みます。(この際、水準器・水糸等を用いてF.L、水平レベルが出るようにして行なってください。)

ー注ー

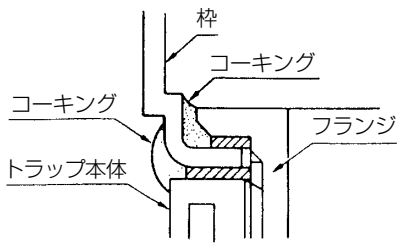
・接着剤は、塩ビ管専用タイプ（溶剤系）をご使用ください。

（2）枠の方向（目地通り方向の水平・垂直）を確認し、枠の向きを調節してください。その後フランジを同梱している締付工具を用いて確実に締め付けてください。

ー注ー

・この状態で排水ユニットに荷重や衝撃を与えないでください。
※変形や、方向のズレを生じることがあります。
・漏水のないことを確認してください。

（3）フランジと枠との間およびトラップ本体と枠をシリコンでコーキングしてください。



3 排水ユニットの埋め込み

（1）枠の上に水準器を置き水平が出ていることを確認します。水平が出ていないときは調節してください。

ー備考ー

・PBF-TM2-15～60については、図3のように多少の調節が可能です。この範囲で収まらない場合や、PBF-TM2-75以上のものについては**2**より調節しなおしてください。

（2）枠に目皿をセットします。

ー注ー

・目皿をセットしない状態で取り付けるとモルタルの収縮等により枠が変形し、目皿がはまらなくなることがあります。

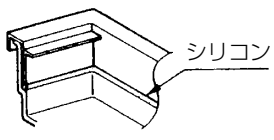
（3）床仕上面（タイル張り）を考慮した位置までセメント（モルタル）で埋め込みます。

4 仕上げ

タイル等の仕上材を用いて床仕上げを行ないます。(施工完了図参照)

ー注ー

・枠の上縁面が床仕上面より低くなるようにしてください。
・枠周囲と仕上材の間に5mm程度（目地幅相当）のクリアランスを設け、シリコンでコーキングしてください。
・PBF-TM2-75、PBF-TM2-90、PBF-TM2-120については金属部（枠部）と樹脂部（溝部）の接合部にもシリコンでコーキングしてください。



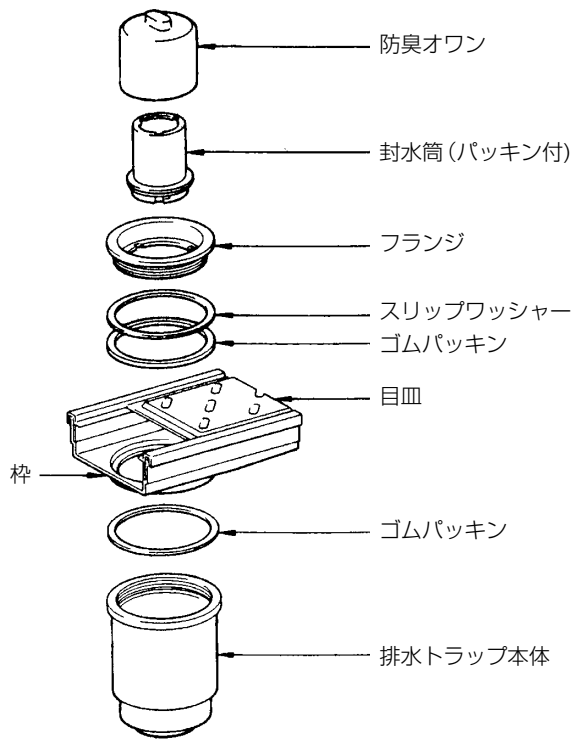


図1

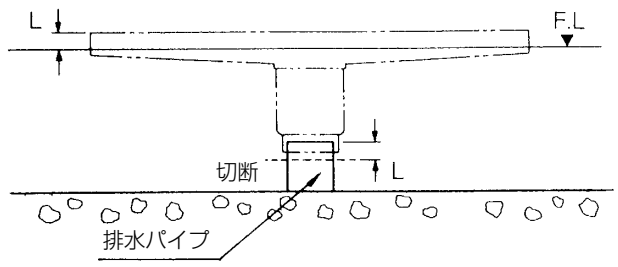


図2

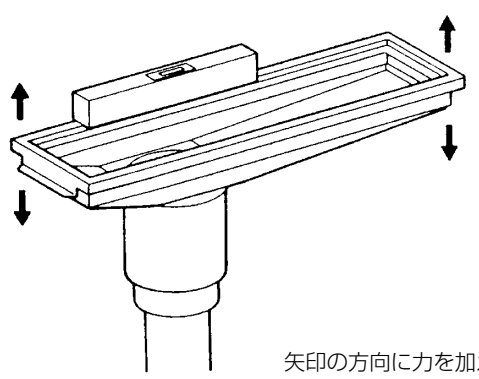


図3

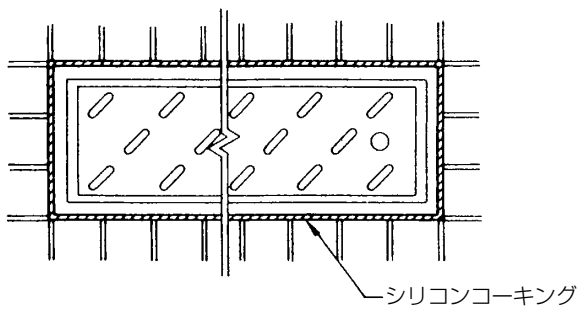


図4

確認

1 清掃

排水ユニット内のゴミや異物を取り除きます。

2 水漏れの確認

給水、排水して排水ユニットの取付部等より水漏れがないことを確認します。

3 保護

浴室の全ての工事が完了するまで商品全体をダンボール等で十分保護します。

4 引渡し

取扱説明書により正しい使い方をご説明の上、取扱説明書を必ずお施主さまにお渡しください。